

概 要

商 号	入江工研 株式会社 IRIE KOKEN CO.,LTD.
設 立	1966年(昭和41年)5月24日
資 本 金	1億円(2011年8月15日現在)
役 員	代表取締役社長 入江 則裕 取締役 片岡 正彦 取締役 柴原 拓也 社外取締役 青山 英男 監査役 入江 史子 社外監査役 入江 則治
決 算 月	3月
年 商	34億円(2010年度)
従 業 員 数	180名(2011年3月31日現在)
事 業 内 容	各種金属機械製品・真空機器の 設計、製造、販売 溶接ペローズ、成形ペローズ ペローズ応用製品、高真空ゲートバルブ 真空チャンバー、鉄道車輛部品
認 証 取 得	四国事業所 ISO14001 (2008.9.12) 登録番号 08ER-714 ISO9001 (1999.8.1) 登録番号 99QR-191 テクニカルセンター ISO9001 (2001.1.17) 登録番号 01QR-476
主要取引銀行	日本政策金融公庫 東京支店 三菱東京UFJ銀行 銀座支店 商工組合中央金庫 押上支店

所在地

本 社	〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-1-1 国際ビル813 TEL:03-3211-7111 FAX:03-3211-7110
大 阪 所 業 所	〒550-0002 大阪市西区江戸堀通1-2-11 大同生命南館 TEL:06-6445-2630 FAX:06-6459-3350
テクニカル セ ン タ ー	〒350-1155 埼玉県川越市下赤坂740-5 TEL:049-261-2351 FAX:049-278-1172 敷地面積 2,490m ² 建築面積 2,845m ²
[四国事業所] 内子工場	〒791-3321 愛媛県喜多郡内子町川中1910 TEL:0893-45-0311 FAX:0893-59-5001 敷地面積 7,026m ² 建築面積 2,977m ²
中山工場	〒791-3204 愛媛県伊予市中山町出淵4 番耕地1580-1 TEL:089-967-1001 FAX:089-967-5011 敷地面積 22,313m ² 建築面積 4,455m ²
韓 国 支 店 KOREA BRANCH	#1002, 10F Human Sky Valley, 959, Gosaek-dong, Gwonseon-gu, Suwon-si, Gyeonggi-do, 441-813, Korea TEL:+82-70-8233-6173
[関 連 会 社]	常州入江精工有限公司 郵便213002 中華人民共和国 江蘇省 常州市 鐘樓区 星新工業園 TEL:+86-519-8675-2011 FAX:+86-519-8397-6397 資 本 金: 3,000万円(JPY) 事業内容: 加圧用金属ペローズの製造販売 空調配管部品、鉄道車輛向け部品 TIG溶接・MAG溶接・MIG溶接組 立製造 SUS・アルミ等各種組立製造 認証取得: ISO9001 (2008.6.17) 登録番号30924



〈本社〉

会社の沿革

5月	(株)日本冷熱コンサルト 資本金300万円
10月	入江工研(株)に改称
川崎工場(神奈川県川崎市大師河原)	操業開始
東京都中央区銀座8丁目に本社移転	
多摩川工場開設、よって川崎工場閉鎖	
川越工場(埼玉県川越市下赤坂)	開設
資本金1,000万円	
東京都中央区銀座4丁目に本社移転	
四国工場(現・内子工場)	操業開始
大阪営業所	開設
資本金4,000万円	
四国工場にマシニングセンター3台導入	
中山工場新設	操業開始
資本金1億3,600万円	
東京都中央区築地に本社移転	
川越工場をテクニカルセンターに呼称変更	
テクニカルセンター	増改築
東京都板橋区上板橋に本社移転	
四国事業所	ISO9001取得
東京都千代田区丸ノ内 国際ビルに本社移転	
テクニカルセンター	ISO9001取得
四国事業所中山工場	増築
四国事業所内子工場	全面改築
テクニカルセンター	第2工場竣工
韓国駐在所	開設
海外関連会社「常州入江精工有限公司」	操業開始
TOC (Theory of Constraints) プロジェクト開始	
四国事業所	ISO14001取得
韓国支店	開設
四国事業所内子工場	改築
四国事業所中山工場	増築
資本金1億円	

製品の沿革

1966年	ベローズ成形機1号機開発 ベローズ式配管伸縮継手の開発開始
1967年	電車主電動機用の冷却送風装置を納入開始
1968年	
1969年	プラント用溶接ベローズ伸縮継手の出荷開始
1970年	大口径溶接ベローズ製作
1971年	コンテナ貨車ブレーキ制御装置を納入開始
1972年	日本原子力研究開発機構(東海)へ納入開始 新幹線・電車主変圧器コンサベータの試作開始
1973年	
1974年	理化学研究所・東京大学原子核研究所へ納入開始
1975年	真空ゲートバルブ1号機を東京大学原子核研究所へ納入
1977年	日本原子力研究開発機構にブローブ駆動機構の1号機を納入
1980年	NASDA向け発射支援設備・液酸バンドダクトを納入
1981年	臨界プラズマ試験装置「JT-60」の建設に参画
1983年	高エネルギー加速器研究機構・大型加速器「トリスタン」の建設に参画
1987年	👑高エネルギー加速器研究機構より「トリスタン」の完成で表彰を受ける
1988年	放射線医学総合研究所向けHIMAC用プロファイルモニター納入開始
1990年	大型放射光施設「SPring-8」(理研・原研)の建設に参画 東北大学に無摺動ゲートバルブ「コスラーズ」を納入
1991年	無摺動ゲートバルブ「コスラーズ」量産開始
1992年	ハステロイベローズの開発 極高真空の創出に成功
1994年	無摺動ゲートバルブ「コスラーズII」の開発
1996年	
1998年	
1999年	無摺動丸型バルブ「COMPAC」の開発
2000年	バルス管冷凍機の開発
2001年	
2002年	J-PARC(大強度陽子加速器施設)の建設に参画
2003年	差圧キャンセル式大型ゲートバルブ「GARIVA」、「MARINA」の開発
2004年	👑日本真空工業会「会長賞」受賞 「差圧キャンセル弁の開発・製品化」
2005年	
2006年	👑中小企業優秀新技術・新製品賞「優秀賞」受賞 「差圧キャンセル式大型ゲートバルブ「GARIVA」」
2007年	大型真空ゲートバルブの開発に関して、第4回「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律に基づく特定研究開発等計画」に認定 「明日の日本を支える元気なモノ作り中小企業300社」(2007年版)に認定
2008年	
2009年	X線自由電子レーザー施設SACLAの加速器用ベローズチャンバーを納入 FFTシリーズ(Roll to Roll膜装置用バルブ)の開発 👑J-PARC(大強度陽子加速器施設)より感謝状を受賞
2010年	👑超モノづくり部品大賞「奨励賞」受賞 「大強度陽子加速器施設(J-PARC)の大ビーム位置検出器(Big-BPM)」
2011年	日本原子力研究開発機構に「JT-60SA」ポートベローズを納入